

平成 25 年 3 月 11 日

公益財団法人日本卓球協会
震災復興支援・情報収集チーム
担当理事 高橋 和博
リーダー 古市 智子

平成 24 年度活動報告

(1) 「WASURENA 3.11」

震災復興支援のスローガンとして掲げてきた「WASURENAI 3.11」。

本年度も継続的に全国大会会場にて横断幕を掲出し、日本代表選手はこのロゴを競技ウェアに付け、復興の願いを込めて世界選手権大会並びに国際大会に出場した。

(2) 震災復興への支援金

ITTF 関係からのお見舞い支援金、昨年 6 月 30 日以降に寄せられた支援金、「WASURENAI 3.11」ロゴを入れて製作したチャリティ T シャツ 2,260 枚の収益を、岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会に以下の通り送金した。

(茨城県卓球連盟からは辞退のお申し出があった。)

岩手県卓球協会	2,500,000 円
宮城県卓球協会	2,500,000 円
福島県卓球協会	2,500,000 円

(3) 卓球台の支援

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟に、(株)三英様からのお申し出で計 12 台の屋内卓球台をご寄贈いただき、9 月 25 日から各県に各 3 台ずつ送付した。

(4) 大会支援

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟の 4 県が主催する『<絆>卓球交流大会』は今年度で開催 2 年目を迎え、協和発酵キリン(株)様のご協賛をいただいて 9 月 8 日～9 日に茨城県ひたちなか市で開催した。(宮城県は日程上の関係で不参加。)

(5) 特別措置

- ①福島県卓球協会から今年度登録料減免の依頼があり、第 3 回理事会において協議した結果、前年同様の減免を決定した。
- ②岩手卓球協会、宮城卓球協会、福島卓球協会に対し、登録人数の減少を考慮して平成 22 年度の登録人数実数を用い、平成 25 年度の大会参加枠を決定した。

(6) その他支援

- ①福島県卓球協会からのお申し出により、天皇杯・皇后杯平成 24 年度全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)に、避難区域在住者を優先とした小学生、中学生、引率者の約 50 名を招待した。
- ②平成 25 年度～27 年度の 3 年間、登録会員に「震災復興支援金」のご協力をお願いした。

(7) 今後の取り組み

「WASURENAI 3.11」旗印の下、今後も復興支援のサポートをし、協会事業を進める。

以上